

お知らせ

令和5年5月1日

社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院

病院長 篠田 淳

中部脳リハビリテーション病院では下記の要領で臨床研究を予定しています。

- 研究題名 遷延性意識障害者の安静時脳波の検討:eLORETA-ICA法による解析(後方視的研究)
- 目的 遷延性意識障害者の「安静時」脳波を個別にeLORETA-ICA法により解析し、得られたデータを健常者のデータと比較するとともに意識レベル別、意識障害改善の度合い別にデータベース化し、脳機能リハビリテーションの導入、効果判定のための脳機能評価としての有用性を探索する。
- 対象 2022年1月1日より2023年4月30日の間に中部療護センターで入院治療を受けた患者のデータ(生年月日、性、病名、発症からの期間、意識レベル、脳波施行時日時、意識レベルの推移)、MRIと脳波データ(中部療護センターで施行されたMRIと脳波のデータ)。
- 方法 遷延性意識障害患者の安静時脳波データからeLORETA-ICA法により脳活動として5つの皮質回路(デフォルトモードネットワーク)を解析し、信号源および大脳皮質回路の活動量を測定する。
- 人権擁護 ヘルシンキ宣言に従い、被験者のプライバシーを尊重し、カルテのデータは連結不可能匿名化の上保存し、被験者が特定できないように特別の配慮を行う。

研究代表者 篠田 淳(中部療護センター脳神経外科)

中部脳リハビリテーション病院では患者より得られた検査データを研究に使用することがある旨、院内に掲示しています。院内に保管してあるこれら患者データを使用する研究を行う場合には、その都度、具体的な研究の概略を示し改めて研究に係わる患者データ使用に関するお知らせを行うことにしています。本研究(上記)では2022年1月1日から2023年4月30日の間に中部療護センターで入院治療を受けた患者のカルテに記載されているデータ、MRIおよび脳波データを使用します。

この件につきまして疑義がございましたら2023年7月30日までに下記までお申し出ください。

社会医療法人厚生会中部脳リハビリテーション病院

事務長 坂下重吾